

研究構想図

学習指導要領 理科の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
- (3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

研究主題

科学的な思考力・表現力の育成

目指す児童像

○理科の見方・考え方を働かせ、科学的に問題を解決し、根拠をもって表現する児童

研究仮説

問題解決の過程の中で、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行えば、根拠をもって表現する力を身に付けることができるだろう。

研究の視点

視点1（思考）

理科の見方・考え方を働かせる課題提示の工夫

- ① 発問の工夫
- ② 既習内容や生活経験で得た考えの確認
- ③ 課題の必然性
- ④ ICT機器の活用

視点2（表現）

根拠をもって表現する力を育成するための指導の工夫

- ① 型（思考のフォーム）
- ② キーワードを集めてまとめる
- ③ 図や思考ツール
- ④ ICT機器の活用